

第4期 令和7～11年度
福井県教育振興基本計画



福井県教育委員会

福井県が目指す教育の姿

■ 基本理念

一人ひとりの個性が輝く、ふくい未来を担う人づくり
～子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進～

こどものためにアクション！

引き出す教育

楽しむ教育

ふるさと教育

- ・ 新型コロナウイルス感染症によるライフスタイルの変容、少子化の加速、価値観の多様化、デジタル技術の急速な進化など、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。
- ・ 「福井県長期ビジョン」の策定、北陸新幹線の県内開業などにより、「ふくい未来」に明るい展望が開けてきた今こそ、本県の将来を担う子どもたちが、「夢と希望」を持ち、個性を發揮しながら人生を切り拓いていくチャンスです。
- ・ 「地域社会をもっと良くしたい」という志を持ち、自分らしく生きるために、基礎的な知識・技能の習得に加え、地域をより深く学び、多様な人々と協働しながら、**自らの可能性に挑戦し未来を切り拓いていく「生きる力」を育成**することが不可欠です。
- ・ 子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」、探究心を持ち学びを「楽しむ教育」、郷土の歴史、自然、文化、人々等とつながり学ぶ「ふるさと教育」を進め、「**子どもが主役の教育**」を推進します。
- ・ 教職員が子どもと共に学び続ける伴走者として誇りをもって働くことができるよう、働きがいと働きやすさを両立する「働き方改革」を実行します。

■ 目指す人間像

- 1 個性を發揮し、自らが思い描く人生を切り拓くために挑戦し続ける人
- 2 多様な人々の存在を認め、協働して新たな価値を生み出す人
- 3 ふるさとや自然を愛し、いづどこにいても社会や地域に貢献する人

■ 伸ばすべき力

学習指導要領の「学びの三要素」をバランス良く育みながら、以下の力を重点的に育成します

- 1 思考と行動の基礎となる**学力・体力**
- 2 好奇心をもって学びを深める**探究力**
- 3 他者と協働する**共感力・対話力**
- 4 ふるさとの未来と自らの将来を思い描く**キャリア形成力**
- 5 成長を続けるための**挑戦力**

- この計画は、「教育に関する大綱」の行動計画であるとともに教育基本法に定める、本県教育の振興のための施策に関する基本的な計画であり、計画期間は令和7年度から令和11年度までとしています。
- また、2040年の福井県が目指す姿を示す「福井県長期ビジョン」の教育分野に関する個別計画の性格を有します。

基本的な方針

方針 1 自らと福井の将来につなげる学びの推進

目的

- ・課題の発見・解決や他者との協働など、未来を切り拓いていくための資質・能力を育む
- ・地域の未来と自らの将来を考える機会を増やし、一人ひとりの将来の夢や希望を育む

(1) 確かな学力と探究力の育成

- 授業用・自学用ソフトの活用を徹底し、**教育DXによる学びの変革**を推進
- 全高校が参加する探究フォーラムの開催等、「**探究的な学び**」の**先進モデル地域**として深化
- 柔軟でクリエイティブな**発想力**や**デザイン思考**を育む学びの推進
- AI・ICTなど**デジタル技術を活用する力**や情報活用能力・メディアリテラシーの育成



タブレットを活用した協働学習

(2) 豊かな心と健やかな体の育成

- 道徳教育やポジティブ教育等、**お互いを尊重し合う心**や**自己肯定感**を育む学びの推進
- 電子書籍や点字図書等、**多様な子どもたちの読書機会の確保**
- 野外教育活動実施団体と連携した**アウトドア教育**の推進
- 地場産食材を使用した**学校給食等による食育**の推進



アウトドア教育の推進

(3) 多様な人々と協働する力の育成

- 「全国高校生プレゼン甲子園」等、**福井発のプレゼンテーション教育**の拡充
- 海外留学や受入れ等の相互交流拡大など、**グローバル教育**を充実
- SDGsの観点から、地球環境問題等の世界共通の課題についての学びを推進



全国高校生プレゼン甲子園

(4) ふるさとの未来と自らの将来を思い描く力の育成

- 自分の将来や生き方を考える機会を提供する「**ライフデザイン教育**」の推進
- 「**地域デザイン講座**」や地元OBとの交流等による、「**地元就職・地元進学**」の意識醸成
- 「大学進学サポートセンター」における**県内大学進学**に向けた講座等の実施
- 地域住民と協働する体験学習等による**ふるさと教育**の推進



地域デザイン講座

(5) 幼小中高大のトータル教育の推進

- 幼小の接続カリキュラム拡大等による、0～18歳までの「**ふくい18年教育**」の拡充
- 地域の高校と市町・小中学校の交流・連携を促進



地域住民と協働した課題解決型学習

方針2 誰一人取り残されず、個性が尊重される学びの推進

目的

- ・全ての子どもが安心して学ぶことのできる居場所をつくる
- ・特別支援教育の充実など、子どもの多様性に応じた学びと環境をつくる

(1)安心して学べる場の充実

- 「校内サポートルーム」の設置拡充や民間フリースクールとの連携等、多様な居場所づくり
- 「心の健康観察」等を活用し、子どもの心境や生活環境の変化を早期把握
- 学校・家庭・地域関係者が連携した、いじめへの組織的な対応
- 定時制・通信制高校において、個別最適な学びやキャリア教育を推進
- 義務教育の学び直しの場として県立夜間中学を開設



校内サポートルーム

(2)特別支援教育の推進

- 支援を要する子どもへの就学前から小中高へと発達段階に応じた切れ目ない支援の強化
- 特別支援学校と地域の交流・共同学習等を通じたインクルーシブ教育の推進
- 職業スキル向上や地域交流イベント等、社会参加・就労に向けた支援



地域での販売会の様子

(3)医療・福祉分野との連携強化

- スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置拡充や教員研修の充実
- 児童虐待の防止、不登校対策の充実に向けた組織的な連携の推進



カウンセラーによる相談対応

方針3 人生を楽しく豊かにする学びの推進

目的

- ・生涯学び続けることの楽しさを伝え、さまざまな学びの機会を提供する
- ・子どもたちが文化芸術・スポーツに親しむ機会を充実する

(1)生涯学習の振興

- 福井の目指す将来像や魅力を学ぶ「ふるさと未来講座」等、生涯学習を実践型へ変革
- SDGs活動の推進等による、若い世代の社会教育への参加促進
- 県立図書館の電子図書導入等、地域における学びの拠点の機能強化



大学生ボランティアと公民館での催し

(2)文化芸術・スポーツ活動の充実

- 持続可能な文化・スポーツ活動に向けた、中学校部活動の地域移行の推進
- キャリア講座等、文化芸術系の進路を目指す生徒への支援の充実
- トップアスリート育成プログラムの開催等スポーツ分野人材の発掘・育成
- 「福井の文化財を未来へプロジェクト」による文化財の保存・継承・魅力発信の推進



地域クラブ活動

(3)家庭や地域と一体となった教育力の向上

- 学校運営支援員等の活用等、地域と一体となった教育活動の充実
- 親の学び合いプログラム「親はびトーク」の開催推進等による、家庭教育への支援充実

方針4 基本となる環境づくり

目的

- ・ 働きがいと働きやすさを両立する職場環境をつくり、教職の魅力を広く発信する
- ・ 子どもたちの多様なキャリア形成を促す、特色のある魅力的な学校をつくる

(1)「ふくい教育」の魅力発信

- 教職員の創意工夫を顕彰する「**ふくい教育チャレンジアワード**」の創設
- 専任スタッフ配置等による**教員や子どもの生き生きとした姿の発信**
- 教育実践や研究成果を発表し、教員同士で学び合う「**ふくい教育フォーラム**」の開催
- 学校現場の声を集めて業務改善に活かすため、県内各地で「**ふくい教育ミライ会議**」開催



ふくい教育チャレンジアワード



ふくい教育ミライ会議

(2)教職員一人ひとりを大切にする「働き方改革」の推進

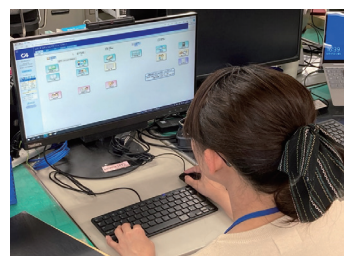
- **小学校教科担任制**や**中学校の生徒指導担当教師**等、教員確保・拡充
- 「**産育休等代替教職員**」の**事前配置**等により、**男性教員等の育休取得**を促進
- 学校運営支援員や部活動指導員等の外部人材活用、学校業務の課題に対して助言できる人材の配置等により、教員の負担を軽減
- 教員免許を持つが教職には従事していない人材等、新たな人材を確保
- 学校行事の精選等による**業務削減、校務DXによる業務効率化**の推進
- 複数で子どもを見守る**チーム担任制**等、**チームマネジメント**の推進



教員研修の様子

(3)特色のある魅力的な学校づくり

- SSH・DXハイスクールなど特色ある学びの推進、**地域拠点校として高校の一層の魅力向上**
- 産業教育フェアの拡充等、小中学校に対し**職業系高校の魅力発信**を強化
- **タブレット端末の更新**、県立学校の**情報ネットワーク環境拡張**等、教育DXの環境充実
- **県立高校のメイン体育館への空調設置**や洋式トイレ化、バリアフリー化等の計画的な推進
- 義務教育学校の設置など新たな小中学校のあり方検討、統合時の教員加配など支援



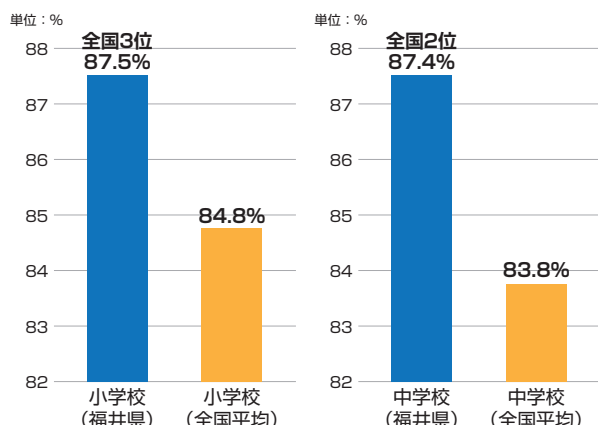
校務支援システム活用の様子



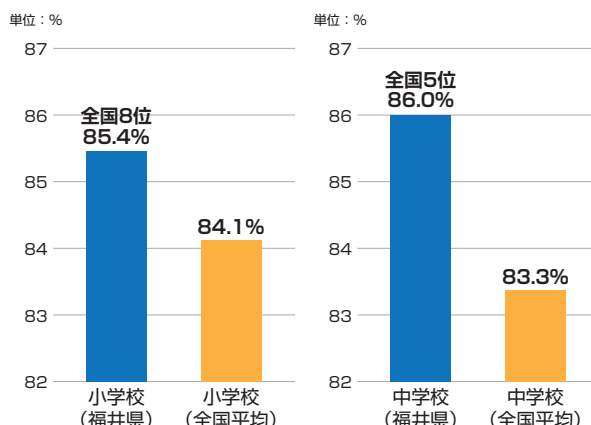
探究学習の合同発表会

福井県の教育の現状[R6]

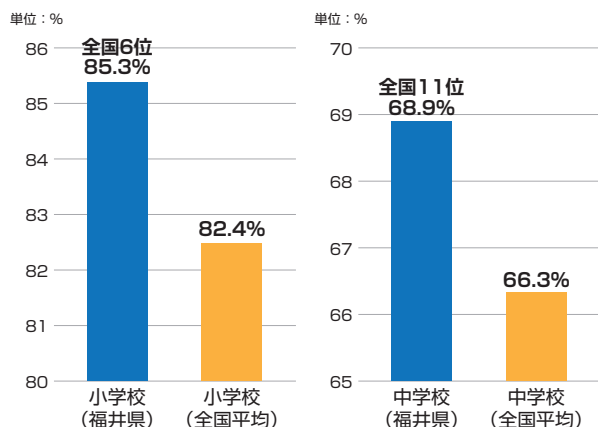
◆学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の割合



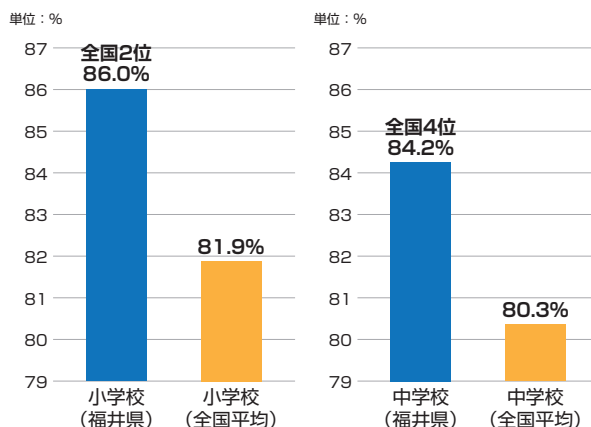
◆自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合



◆将来の夢や希望(目標)を持っている児童生徒の割合



◆課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組む児童生徒の割合



5年後の達成目標(KPI)

子どもの「生きる力」の育成と、子どもと教職員がともに生き生きと学び合える環境づくりを大切にしたい目標を設定します。

主な目標	対象	現状 [R6]	目標 [R11]
学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の割合	小学校	87.5%	90%
	中学校	87.4%	90%
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	小学校	85.4%	90%
	中学校	86.0%	90%
将来の夢や希望(目標)を持っている児童生徒の割合	小学校	85.3%	90%
	中学校	68.9%	80%
課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組む児童生徒の割合	小学校	86.0%	90%
	中学校	84.2%	90%

お問い合わせ

福井県教育庁教育政策課
〒910-8580 福井市大手3丁目17-1
TEL (0776)20-0557 FAX(0776)20-0668

福井県教育振興基本計画本文はこちらから御覧いただけます。

